



# 大学ランキングへの IRの関わりについて

山形大学 学術研究院  
浅野 茂

E-mail: [asano@cc.yamagata-u.ac.jp](mailto:asano@cc.yamagata-u.ac.jp)

平成29年度 第1回IR実務担当者連絡会  
2017年5月19日(金) @ 立命館大学 大阪いばらきキャンパス

# 報告の構成

---

1. 問題の所在
2. 大学ランキングの概要
3. 求められるデータと登録作業
4. IRが果たせる役割
5. まとめ

# 1.問題の所在

---

- 昨今、研究大学強化促進事業、スーパーグローバル大学創成支援事業等を通じて、世界大学ランキングにおける日本の大学のプレゼンス向上が図られている。
  
- 本発表では、世界大学ランキングで求められるデータ収集、登録等において IR が果たせる役割と、実際の作業において生じる問題等を参加者と共有したい。

## 2. 大学ランキングの概要～種別等～

### 世界版

THE世界大学ランキング  
QS世界大学ランキング  
世界大学学術ランキング  
トムソン・イタ-世界大学ランキング  
CWUR世界大学ランキング  
Top100グローバル大学ランキング  
HEEACT世界大学ランキング  
ENSMP世界大学ランキング  
ライデン・ランキング  
Webometrics世界大学ランキング  
U-Map  
U-Multirank  
World's Best Universities: Top400  
SCImago Institutions Rankings  
.....

### 日本版

THE世界大学ランキング日本版  
大学ランキング（朝日新聞出版）  
本当に強い大学（東洋経済）  
大学の实力（読売新聞）  
入試難易ランキング（予備校等）  
危ない大学・消える大学  
.....

### 3.大学ランキングの概要～THEの分野・配点割合

分野	世界版	アジア版
教育力	30%	25%
研究力	30%	30%
研究の影響 力	30%	30%
国際性	7.5%	7.5%
産業界か らの収入	2.5%	7.5%

↑ 研究力を重視

分野	日本版
教育リソース	38%
教育満足度	26%
教育成果	20%
国際性	16%

↑ 教育力 + 国際性を重視

# 3.大学ランキングの概要～THEのSubject Category～

No.	世界版Subject Category
1	Arts and Humanities
2	Clinical, Preclinical and Health
3	Computer Science
4	Engineering and Technology
5	Social Sciences
6	Life Sciences
7	Physical Sciences
8	Business and Economics
9	Psychology
10	Law
11	Education

No.	日本版Subject Category
1	Arts and Humanities
2	Clinical, Preclinical and Health
3	Computer Science
4	Engineering and Technology
5	Social Sciences
6	Life Sciences
7	Physical Sciences
8	Business and Economics

## 4.求められるデータと登録作業～THE世界版の指標・情報源～

分野	指標	情報源
教育力	<ul style="list-style-type: none"><li>研究者による評価</li><li>教員当たり学部学生数</li><li>学士授与数当たり博士授与数比率</li><li>教員当たり博士授与数</li><li>教員当たり収入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>THE独自収集</li><li>大学</li><li>大学</li><li>大学</li><li>大学</li></ul>
研究力	<ul style="list-style-type: none"><li>研究者による評価</li><li>教員当たり研究収入</li><li>教員当たり論文数</li><li>研究収入中の公的資金の割合</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>THE独自収集</li><li>大学</li><li>大学 + Scopus</li><li>大学</li></ul>
研究の影響力	<ul style="list-style-type: none"><li>論文引用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>Scopus</li></ul>
国際性	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人教員比率</li><li>外国人学生比率</li><li>国際共著論文数</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>大学</li><li>大学</li><li>Scopus</li></ul>
産業界からの収入	<ul style="list-style-type: none"><li>教員当たり産業界からの研究資金</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>大学</li></ul>

# 4.求められるデータと登録作業～THE世界版の大学登録情報～

No.	Subject Category	Acad. Staff	Students	Income
1	Arts and Humanities	①教員数 ②うち外国人教員数 ③うち女性教員数 ④研究員数	①学生数 ②うち外国人学生数 ③うち女子学生数 ④うち学部学生数 ⑤うち修士課程学生数 ⑥うち博士課程学生数 ⑦学士授与数 ⑧博士授与数	①総収入 ②うち研究資金 ③うち産業界からの研究資金
2	Clinical, Preclinical and Health			
3	Computer Science			
4	Engineering and Technology			
5	Social Sciences			
6	Life Sciences			
7	Physical Sciences			
8	Business and Economics			
9	Psychology			
10	Law			
11	Education			
<b>Overall</b>				

※Acad. Staffの①～③、Studentsの①～④はFTE

# 当日投影のみ

# 4.求められるデータと登録作業～THE世界版の登録サイト～



[Home](#) |

[Select your language](#) |

[Help](#) |

[Logout](#)

## Data Collection Portal

**Welcome to the** *Times Higher Education (THE)* World University Rankings data collection portal.

The data collections applicable to your institution are listed below. Please note the opening and closing dates shown for each collection. Closed collections are available for viewing but not editing.

Please select the appropriate collection to continue. If you have any questions please contact

[Profilerrankings@timeshighereducation.com](mailto:Profilerrankings@timeshighereducation.com)

Collection	Collection Opens	Deadline	Status	Action
Subject Validation 2017	Wednesday 3rd May 2017 00:00 UTC	Friday 26th May 2017 23:59 UTC	Open	<a href="#">Select</a>
World University Ranking 2016	Friday 1st January 2016 00:00 UTC	Tuesday 1st March 2016 00:00 UTC	Closed	<a href="#">Select</a>
Japan University Ranking 2017	Thursday 12th January 2017 00:00 UTC	Monday 6th February 2017 23:59 UTC	Closed	<a href="#">Select</a>
World University Ranking 2017	Tuesday 10th January 2017 00:00 UTC	Thursday 13th April 2017 23:59 UTC	Closed	<a href="#">Select</a>

Copyright © 2017 TES Global Ltd. | [Terms & Conditions](#) | [Contact us](#)

## 4.求められるデータと登録作業～THE日本版の指標・情報源～

分野	指標	情報源
教育 リソース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生一人当たりの資金</li> <li>・ 学生一人当たりの教員数</li> <li>・ 教員一人当たりの論文数・被引用回数</li> <li>・ 大学合格者の学力</li> <li>・ 教員一人当たりの競争的資金獲得数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学</li> <li>・ 大学</li> <li>・ 大学+THE(Scopus)</li> <li>・ ベネッセ<sup>1</sup></li> <li>・ 大学+THE(内閣府)</li> </ul>
教育 満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校教員の評判調査 (グローバル人材育成の重視)</li> <li>・ 高校教員の評判調査 (入学後の能力伸長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベネッセ<sup>2</sup></li> <li>・ ベネッセ<sup>3</sup></li> </ul>
教育成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業人事の評判調査</li> <li>・ 研究者の評判調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日経HR<sup>4</sup></li> <li>・ THE独自収集</li> </ul>
国際性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人学生比率</li> <li>・ 外国人教員比率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学</li> <li>・ 大学</li> </ul>

1 ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力

2 大学に関する印象調査アンケート「グローバル人材育成に力を入れているか」という設問の大学別得票数

3 大学に関する印象調査アンケート「生徒の力を伸ばしている」という設問の大学別得票数

4 企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査(項目ごとの獲得点数の合計)

# 4. 求められるデータと登録作業～THE日本版の大学登録情報～



## A : 大学全体の設問

A1.学部カテゴリー

A2.教員数

A3.スタッフ数

A4.海外への留学生数

A5.インターンシッププログラム利用者

## B : 学部・研究科ごとの設問

B1.【全課程】在籍学生数

B2.【学士課程】卒業生と進路

B3.【修士・博士課程】学位授与数

B4.【学士課程】開講講座数

B5.【学士課程】卒業必修単位数

# 4.求められるデータと登録作業～THE日本版：大学全体1～

## A: 大学全体の設問

A1.学部カテゴリー（学部・研究科ごとに最も近いSubject Categoryを選択）

A2.教員数	2016年	2015年	2014年	2013年
専任教員数	大学ポータル、各大学HPの数値が記入されている？			
うち外国籍教員数				
A3.スタッフ数	2016年	2015年	2014年	2013年
就職サポートスタッフ数				
国際交流・留学支援スタッフ数				
A4.海外への留学生数		2015年度	2014年度	2013年度
海外への留学生数（中長期）				
海外への留学生数（短期）				
A5.インターシッププログラム利用者数		2015年度	2014年度	2013年度
インターン利用者数（中長期）				
インターン利用者数（短期）				

【備考欄】 A1～A5で入力できない場合に入力（自由記述）

# 4.求められるデータと登録作業～THE日本版：大学全体2～



Home | Select your language | Help | Logout

## Japan University Ranking 2017

### Key statistics and ratios

2015

Number of entries which are required for your institution to be eligible for the Overall Rankings, but which have been marked as unavailable or withheld

Total institutional income per member of academic staff (FTE)

Total institutional income per student

Percentage of academic staff of international/overseas origin

Percentage of students of international/overseas origin

Student to academic staff ratio

### Overall - This section is mandatory for all universities to complete

2015

Total institutional income

Number of academic staff (FTE)

846

Number of academic staff of international/overseas origin (FTE)

21

事前に登録されている数値を確認し、修正することとされていたが、最終的には実施元が共通定義で確定した。

# 4.求められるデータと登録作業～THE日本版：学部・研究科～

## B: 学部・研究科ごとの設問

	2016年	2015年	2014年	2013年
<b>B1.【全課程】在籍学生数</b> 在籍学生数：学部（学士課程） 在籍学生数：修士・博士課程 在籍学生数：専門職学位課程 在籍学生のうち留学生数	<b>大学ポータル、各大学HPの数値が記入されている？</b>			
<b>B2.【学士課程】卒業生と進路</b> 学部（学士課程）卒業生数 うち進学者数（外国の学校等入学者含む） うち就職者数 うち臨床研修医数 学部（学士課程）卒業生のうち留学生数		2015年度	2014年度	2013年度
<b>B3.【修士・博士課程】学位授与数</b> 修士号授与者数 博士号授与者数		2015年度	2014年度	2013年度
<b>B4.【学士課程】開講講座数</b> 年間開設全講座数 うち全て英語で行われる講座数（除語学） うちアクティブ・ラーニング講座数 うち学外の民間企業人などが行う講座数	2016年度	2015年度		
<b>B5.【学士課程】卒業必修単位数</b> 卒業必修単位数 うち語学、全て英語の授業、留学等の必修単位数 うちアクティブ・ラーニングの必修単位数	2016年入学者	2015年入学者		

【備考欄】 B1~B5で入力できない場合に入力（自由記述）

# 4. 求められるデータと登録作業～THE日本版：学部・研究科～

## 世界版

## 日本版

カテ  
ゴリ  
選択



データ  
作成

- Subject Categoryごとのデータ切り分け
  - FTE換算
  - 総収入、研究資金、産業界からの研究資金の算定
- ↑ いずれも容易ではない!!

- 学部/研究科のデータをSubject Categoryごとに整理
  - 学校基本調査の活用
  - 定義が曖昧な項目の解釈
- ↑ 比較的容易である!!

# IRが果たせる役割～IRの4つの顔～

- The four faces of Institutional Research※  
→その時々々の要請に応じて、IRが使い分ける顔（または振る舞い）

## 情報精通者としてのIR



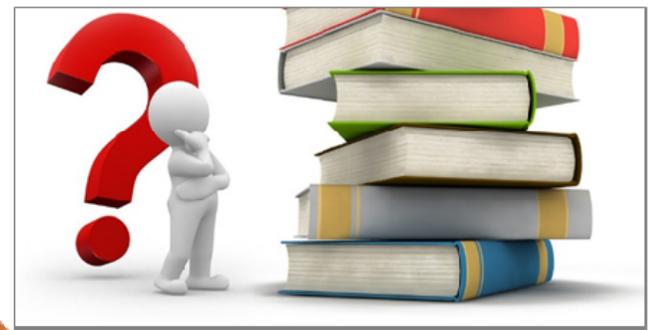
## スピンドクターとしてのIR



## 政策分析者としてのIR



## 学者・研究者としてのIR



※Volkwein, J. F. (1999), The Four Faces of Institutional Research, New Directions for Institutional Research, No.104, pp.9-19.

# IRが果たせる役割～具体例～

---

## □情報精通者としてのIR

- 保有している情報を有効に活用
- 大学の公式データとして継続性、正確性を確保

## □スピンドクターとしてのIR

- 学長、理事、部局長、担当部署等への提案・助言等

## □政策分析者としてのIR

- 世界大学ランキングの動向、政策における位置づけ等の把握

## □学者・研究者としてのIR

- 過去及び他大学等の結果を踏まえた調査・分析等

---

※日本における実態等、詳細は浅野(2015), 「IRの4つの顔」から見える日本の大学のIR像」, 大学評価とIR, 第4号, pp.43-50. を参照。

# まとめ

---

- IRの4つの顔のうち、情報精通者として関与することで、保有している情報の有効活用のみならず、データ収集の負担軽減に一定程度、寄与することができる。
- 一方で、THE世界版では欧米標準で、THE日本版では日本基準でデータを収集・登録するため、各種情報をハンドリングするのは容易ではない。IR部署では判断できないことも多く、都度、執行部や関係部署に確認をとるなど、コミュニケーションが不可欠となる。
- そのことで、学内におけるIRの認知度を向上させることができ、存在意義の確立にもつながる。